

平成28年度 事務事業評価シート

章	2	自然とともに暮らすまち
節	1	環境への負荷の少ないまちをつくる
施策	II	循環型社会の構築
目標	循環型社会の構築を目指し、ごみの減量化やリサイクル活動の促進と廃棄物の適正な処理を行う。	

指標名	単位	基準値 H16	中間値 H21	実績値 H22	実績値 H23	実績値 H24	実績値 H25	実績値 H26	実績値 H27
指標① 家庭系ごみの市民一人・1日当り排出量	g	570	582	597	583	592	586	572	572
指標② 事業系ごみの年間排出量	t	9,388	8,299	8,228	7,753	7,676	7,695	7,235	7,742
指標③ 最終処分場の年間埋立て量	t	2,234	2,452	2,477	2,484	2,441	2,512	2,882	2,775
指標④ 不法放棄件数	件	48	63	58	62	43	42	52	33

施策コード	施策の基本的な方向	主要な施策	具体的な内容
1-①	1 廃棄物の減量	① ごみの排出抑制の普及啓発とその実践強化	・「登別市ごみ減量化行動指針」に基づき、ごみの減量化と普及啓発を推進します。
2-①	2 廃棄物の有効利用	① リサイクルの普及啓発とその実践強化	・廃棄物の分別や、資源回収を推進します。 ・資源回収を促進するため回収団体への支援を図ります。 ・再生品の有効利用や普及啓発を推進します。 ・生ごみを利用した堆肥の製造として、民間と共同で品質向上を図り、付加価値を高める研究を進めます。
3-①	3 一般廃棄物の適正処理	① ごみ処理施設の適正な維持管理の推進	・クリンクセンターの焼却処理施設等の日常の維持管理を適切に行い、併せて施設の延命化を図ることによって、廃棄物の安全かつ安定的な処理に努めます。
4-①	4 産業廃棄物の適正処理	① 産業廃棄物処理場の適正な管理・指導	・関係機関と連携を図り、環境汚染防止の指導・監督に努めます。
5-①	5 不法投棄の防止	① 不法投棄防止の強化	・「登別市不法投棄、ポイ捨て及びベットのふんの放置条例」に基づき、市民・事業者・行政が一体となり、不法投棄防止の強化を図ります。

NO	施策	事業名 【事務事業コード】	部名及びグループ名	開始年度	終了年度	事業区分	会計種別	大型事業推進プラン掲載事業	Plan・Do																Check			Action						
									事業概要				事業の成果、目標						各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案【単位：千円】						第2期基本計画第3次実施計画期間(H24～H27)及び平成28年度における事業内容の変更・改善等の状況	評価	評価の判断理由、特記事項など(妥当性、有効性、効率性、成果)	今後の事業の方向性【H29以降】						
									事業の目的	年度	対象者等※(※は、達成率を記載)	事業の内容	根拠法令、条例、要綱等	指標名	単位	H26実績	H27実績	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標	名称	H26決算	H27決算					H28予算	H29予算案	H30予算案	H31予算案		
1	1-①	登別市衛生団体連合会運営事業補助金	市民生活部 環境対策G	S59	-	ソフト	一般会計		公衆衛生の向上やリサイクルの啓発等に取組む団体の活動を支援することにより、清潔で住みよいまちづくりを進めるとともに、循環型社会の構築を図ることを目的とする。	H26	登別市衛生団体連合会	衛生団体連合会に対して、運営費の一部を補助した。 【衛生団体連合会の活動内容】 ・クリーン作戦(春・秋)、研修事業、クリーンリーダー研修会(4会場を実施・出席者数111名)、クリーンリーダー視察研修会(参加者数107名)、衛生団体より発行、団体の活動実績等の掲載(町内会で回覧)、表彰事業(個人18人、団体1団体表彰)、各種事業への参加(個別消費生活展、不法投棄・ポイ捨て、犬のふんの放置防止の街頭啓発、リサイクルまつり)	登別市廃棄物の再利用及び処理に関する条例、登別市補助金等の事務取扱に関する規則	クリーン作戦によるごみの回収量(燃やせないごみ)	kg	4,520	4,010	4,000	4,000	4,000	4,000	国庫支出金								H26以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	事業の実施により、ごみの減量、リサイクルの推進、ごみ分別の徹底等をはじめとする廃棄物の排出抑制や再利用、適正処理の実践の推進が図られている。また、様々な事業活動を展開し、全市民的な美化推進をはじめ、不法投棄の監視や防止にも効果が図っており、今後も事業を継続することが相当である。	清潔で住みよいまちづくりを進めるとともに、循環型社会の構築を図るため、公衆衛生に対する理解やリサイクル啓発等の意識向上の促進に努めていく。
H27	上記のとおり	上記のとおり	【衛生団体連合会の活動内容】 ・クリーン作戦(春・秋)、研修事業、クリーンリーダー研修会(4会場を実施・出席者数116名)、クリーンリーダー視察研修会(参加者数100名)、衛生団体より発行、団体の活動実績等の掲載(町内会で回覧)、表彰事業(個人14人表彰)、各種事業への参加(個別消費生活展、不法投棄・ポイ捨て、犬のふんの放置防止の街頭啓発、リサイクルまつり)	上記のとおり	上記のとおり	クリーンリーダーの委嘱人数	人	401	364	360	360	350	350	道支出金									H27	上記のとおり										
H28	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり	一般財源	500	500	500	500	500	500	500	500	H28	上記のとおり									
合計																500	500	500	500	500	500													
2	1-①	ごみ減量化推進事業(資源ごみの回収)	市民生活部 環境対策G	H12	-	ソフト	一般会計		資源の有効活用を促進及びごみ減量化の啓発を行うことにより、循環型社会の構築を図ることを目的とする。	H26	町内会、子供会等の登録団体	新聞紙や金属類、びんなど、再商品化や再利用が可能な資源の回収を行う町内会や子供会などの登録団体に対して、回収量に応じて奨励金(3円/1kg)を支給した。	登別市資源回収団体奨励金支給要綱	資源回収団体数	団体	85	85	90	90	90	90	90	国庫支出金							H26以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	事業の実施により、再生可能な資源ごみがリサイクルされ、資源の有効活用促進及びごみ減量化に資している。市民の資源の有効活用に対する意識は未だ高いと考えられること、奨励金の減額等は、登録団体の資源リサイクルに対する意欲低下を招くことにつながるため、今後も事業を継続することが相当である。	事業の継続を図り、循環型社会の構築、市民のリサイクル意識の向上を図っていく。
H27	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり	道支出金										H27	上記のとおり								
H28	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり	一般財源	4,146	4,096	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	H28	上記のとおり								
合計																4,146	4,096	4,500	4,500	4,500	4,500													

NO	施策	事業名 【事務事業 コード】	部名及びグ ループ名	開始 年度	終了 年度	事業 区分	会計 種別	大型 事業 推進 計画 掲載 事業	Plan・Do																	Check		Action								
									事業概要				事業の成果、目標						各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案【単位：千円】							第2期基本計画第3次実施計画期間 (H24～H27)及び平成28年度にお ける事業内容の変更・改善等の状況	評価	評価の判断理由、特記事項 など (妥当性、有効性、効率性、成 果)	今後の事業の方 向性 【H29以降】							
									事業の目的	年度	対象者等 ※ハード事業 の場合は、施 設名を記載	事業の内容	根拠法令、条例、 要綱等	指標名	単位	H26 実績	H27 実績	H28 目標	H29 目標	H30 目標	H31 目標	名称	H26 決算	H27 決算	H28 予算					H29 予算案	H30 予算案	H31 予算案				
3	2-①	ごみ減量化 推進事業 (リサイク ルの状況)	市民 生活 部	環境 対策 G	H11	-	ソフト	一般 会計	ごみの減量化や リサイクルに關 する啓発を行う ことにより、循環 型社会の構築を することを目的 とする。	H26	市民	クラシカルセンターのリサイクルプラザを情報発信の拠点とし て、リサイクルに対する意識向上を図った。資源回収に係る分別 収集及び再商品化の促進に関する法律に基づき、資源ごみ(び ん・ペットボトル)の再商品化を行った。また、不用品ダイヤル 市を推進した。 【事業実績】 再商品化(びん606t、ペットボトル130t)、不用品ダイヤル市 委託(登録件数143件、成立件数57件)、パソコンの回収ボックス をクラシカルセンターに設置(平成26年4月開始)	廃棄物の処理及び清掃 に関する法律、資源回 収に係る分別収集及び 再商品化の促進等に關 する法律、登別市廃棄 物の再利用及び処理に 関する条例	不用品ダイヤル市 による成立件数	件	57	58	100	100	100	100	国庫 支出金								H26 以前	維持	資源ごみ(びん・ペッ ト)の再商品化委託につ いては、関係法令にお いては、業務委託が 義務付けられてお り、不用品ダイヤル市 については、市民に 浸透した業務であ ることから、維持す ることが妥当である。	引続き、ごみの 減量やリサイク ルに關する啓発を 行っていく。特 に、不用品ダイヤ ル市については、 その成立件数が目 撃値を下回ってい ることから、市民 により浸透するよ う、よりよい周知 方法を検討してい く。			
										H27	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり									道 支出金													H27	
										H28	上記のとおり	上記のとおり実施中	上記のとおり										一般 財源	694	763	691	722	722	722							H28
										合計														694	763	691	722	722	722							
4	2-①	リサイクル まつり	市民 生活 部	環境 対策 G	H13	-	ソフト	一般 会計	ごみの減量化や リサイクルに關 する普及啓発を 行うことにより、 循環型社会の構 築を図ることを 目的とする。	H26	主に市民及び び老町民	クラシカルセンターでリサイクルまつりを開催した。 【イベント内容】 フリーマーケット、音の遊び体験、堆肥化製品の無料配 布、環境パネル展、ペットボトル釣り・ペットボトル工作 教室、繊維リサイクル、紙すき・絵手紙づくり体験、環境 クイズ、太陽光発電・風力発電展示、環境家計簿体験、古 布作品展、登別・白老物産展		来場者数	人	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	国庫 支出金								H26 以前	維持	イベントを通じて、ご みの減量やリサイク ル意識の向上を 促し、循環型社会 のPRに努める必要 性から、今後も行 っていくことが妥 当である。	ごみ減量化やリ サイクルに關心を持 つよう事業内容を 検討していく。			
										H27	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり									地方 債													H27	
										H28	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり	フリーマーケット 出店数	店	30	30	33	33	33	33	一般 財源	60	59	61	73	73	73							H28	
										合計														60	59	61	73	73	73							
5	3-①	ごみステ ーション ネット 化推進 事業補助 金	市民 生活 部	環境 対策 G	H10	-	ソフト	一般 会計	ごみステー ーション ネット化を促 進することによ り、美観、衛生、 交通安全、収集 効率の向上を図 ることを目的と する。	H26	町内会	ごみステーション周辺の衛生環境維持、ごみ収集の効率 化を図るため、ごみステーションをネット化する町内会に 助成を行う登別市衛生団体連合会に対して、助成に要する 経費の補助を行った。 ※助成額：1枚につき1,300円(助成見込数100枚) 【登別市衛生団体連合会の活動実績】 ・助成町内会 15町内会	登別市廃棄物の再 利用及び処理に關 する条例 ごみス テーション設置管 理等に関する要綱	購入補助したネ ットの枚数	枚	48	74	80	80	80	-	国庫 支出金									H26 以前	廃止	美観・衛生等のため に、ごみステー ーションのネット化 を推進してきたが 、現状としてはネ ットと同等の機能 を有するボックス 型が主流となっ てきたことから、 美観・衛生・交 通安全・収集効率 の向上を図るとし た本事業の目的 を一定程度達成 できたと判断し た。	ごみステー ーションにネット 化している町内 会に購入金額の一 部を補助してきた ところだが、本 事業の目的を一定 程度達成できたと 判断し、平成30 年度をもって廃 止する予定であ る。		
										H27	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり									地方 債													H27	
										H28	上記のとおり	上記のとおり実施中	上記のとおり										一般 財源	63	97	104	104	104							H28	
										合計														63	97	104	104	104	0							
6	3-①	ごみ収集 搬業務委託 事業	市民 生活 部	環境 対策 G	H12	-	ソフト	一般 会計	家庭ごみの収集 を効率的に実施 することにより、 適正なごみ処理 を行い、良好な 生活環境の維持 を図ることを 目的とする。	H26	家庭から出され る「燃やせるご み」「燃やせない ごみ」「資源ご み」「粗大ごみ」 の収集・運搬業務 を委託した。 【事業実績】 ・ごみステーション数：1,664カ所 ・収集日：月曜日～土曜日 ・収集回数：燃やせるごみ(週2回)、燃やせないご み・有害ごみ(月2回)、資源ごみ(週1回)、粗大ごみ(年 2回)	登別市廃棄物の再 利用及び処理に關 する条例、ごみス テーション設置管 理等に関する要綱	家庭系一般廃棄物 収集量(年間)	t	10,499	10,388	10,386	10,384	10,382	10,381	国庫 支出金									H26 以前	維持	市町村は、一般廃 棄物処理計画に 従って、区域内 における一般廃 棄物を生活環境 の保全上支障が 生じないように 収集運搬しなけ ばならず、この 事業を民間へ 委託している ものであること から、維持する 必要がある。	引続き、民間 委託により、一 般廃棄物の収集 を実施していく。			
										H27	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり									地方 債													H27	
										H28	上記のとおり	上記のとおり実施中	上記のとおり										一般 財源	122,040	129,212	129,212	129,212	129,212	129,212							H28
										合計														122,040	129,212	129,212	129,212	129,212	129,212							

NO	施策	事業名 【事務事業 コード】	部名及びグ ループ名	開始 年度	終了 年度	事業 区分	会計 種別	大型 事業 推進 プラン 掲載 事業	Plan・Do																	Check			Action								
									事業概要				事業の成果、目標							各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案【単位：千円】						第2期基本計画第3次実施計画期間 (H24～H27)及び平成28年度にお ける事業内容の変更・改善等の状況	評価	評価の判断理由、特記事項 など (妥当性、有効性、効率性、成 果)									
									事業の目的	年度	対象者等 ※ハード事業 の場合は、施 設名を記載	事業の内容	根拠法令、条例、 要綱等	指標名	単位	H26 実績	H27 実績	H28 目標	H29 目標	H30 目標	H31 目標	名称	H26 決算	H27 決算	H28 予算					H29 予算案	H30 予算案	H31 予算案					
7	3-①	クリンクル センター運 営管理経費 及び最終処 分場運営管 理経費	市民 生活 部	環境 対策 G	H12	-	ソフト	一般 会計	クリンクル センター 及び廃棄物 管理型最終 処分場等 で廃棄物の 適正な処 理を行うこ とにより、 生活環境 の健全及び 循環型社 会の構築を 図ることを 目的とする。	H26	クリンクル センターで 焼却、破砕 処理を行っ た後、最終 処分場に埋 め立て処分 を行った。 【事業実績】 ・クリンクル センター運 営管理経費 572,194千 円 ・最終処分 場運営管理 経費 43,398 千円	循環型社会形 成推進基本 法、廃棄物 の処理及び 清掃に関 する法律、 資源の有 効な利用 の促進に 関する法 律	ごみ処理量 (年間)	t	23,610	24,502	23,741	22,980	22,219	21,456	国庫 支出金								H26 以前	事業実施中に 不断の事務 改善を検 討・実施し ております が、事業内 容に変更は ありません。	維持	一般廃棄物の 適正処理を 維持するため 、ごみ処理 手数料及び ごみ処分 手数料の原 価を毎年試 算し、手 数料が適正 であるか 判断する。	ごみ処理手 数料及びご み処分手 数料が適正 であるか 検証を行っ ていく。				
										H27	上記のと おり	上記のと おり 【事業実績】 ・クリンクル センター運 営管理経費 586,592千 円 ・最終処分 場運営管理 経費 44,007 千円	上記のと おり									地方債												H27	ごみ処理手 数料及びご み処分手 数料の見 直しを検 討。		
										H28	上記のと おり	上記のと おり実施 中 【事業実績】 ・クリンクル センター運 営管理経費 592,602千 円 ・最終処分 場運営管理 経費 45,635 千円	上記のと おり	最終処分 量(年間)	t	2,882	2,775	2,611	2,447	2,283	2,118	その他	ごみ処理 手数料、 ごみ処分 手数料等	264,246	292,309	281,366	280,762	280,762	280,762							H28	平成27年度 に引き続 き、見直 しの検 討を行っ ている。
										合計														615,592	630,599	638,237	643,351	643,351	643,351								
8	3-①	クリンクル センター中 間改修事業	市民 生活 部	環境 対策 G	H22	-	ハード	一般 会計	クリンクル センター 長寿命化 のための 計画的な 改修を行 うことよ り、効率的 なごみ 処理を推 進すること を目的と する。	H26	クリンクル センター 供用開始 から10年 以上が経 過したク リンクル センター について、 施設長寿 化のため 、長寿命 化計画に 基づいた 改修を行 った。 【事業実績】 ・焼却処理 施設改修 工事 214,056 千円 ・破砕・資 源化処理 施設改修 工事 42,228 千円	廃棄物の処 理及び清 掃に関す る法律	各年度の事 業達成率	%	100	100	100	100	100	100	国庫 支出金								H26 以前	事業実施中に 不断の事務 改善を検 討・実施し ております が、事業内 容に変更は ありません。	維持	一般廃棄物 は市町村 が処理す ることな っており、 その適 正な処理 を維持す るために 必要な 改修工事 を行うこ とは必 要である。	クリンクル センター 長寿命化 計画及 び大型事 業推進 プランに よって事 業を推 進して いく。				
										H27	上記のと おり	上記のと おり 【事業実績】 ・焼却処理 施設改修 工事 242,126 千円 ・破砕・資 源化処理 施設改修 工事 37,800 千円	上記のと おり									地方債	249,800	220,700	175,700	219,500	163,600	105,400							H27	上記のと おり	
										H28	上記のと おり	上記のと おり実施 中 【事業計画】 ・焼却処理 施設改修 工事 230,000 千円 ・破砕・資 源化処理 施設改修 工事 14,329 千円	上記のと おり									一般財源	一般廃棄物 処理施設 整備基金 積入金 、一般廃 棄物広域 処理白 老町負担 金	6,427	40,074	50,292	7,425	7,764	36,723							H28	上記のと おり
										合計														256,284	279,926	244,329	285,777	192,352	150,723								
9	5-①	不法投棄 等防止事 業	市民 生活 部	環境 対策 G	H17	-	ソフト	一般 会計	廃棄物の 不法投 棄等の防 止啓発、 不法投 棄廃棄物 の回収等 を行うこ とにより、 良好な 生活環 境を維持 し、きれ いで住 みよ いまち づくりを 進めるこ とを目的 とする。	H26	市民 廃棄物不 法投棄防 止看板の 更新、不 法投棄や ごみポイ 捨て防 止に關 する街頭 啓発、不 法投棄防 止のため の夜間・ 早朝パ トロール を実施し た。 【事業内 容・実績】 ・家電4 品目不 法投棄回 収量：43 個 ・パソコン 回収量： 10個 ・不法投 棄防止・ ポイ捨て 防止看板 の設置： 市内設 置数4カ 所 ・市民へ の街頭啓 発活動（ 1回） ・夜間・ 早朝パ トロール （2回）	廃棄物の 処理及び 清掃に 関する法 律、分別 市廃棄物 の再利用 及び処理 に関す る条例、 分別市不 法投棄、 ポイ捨て 及びベ ットのふ んの放 置防止 条例、 分別市不 法投棄、 ポイ捨て 及びベ ットのふ んの放 置防止 条例施行 規則	不法投棄の 発生件 数	件	52	33	0	0	0	0	国庫 支出金									H26 以前	事業実施中に 不断の事務 改善を検 討・実施し ております が、事業内 容に変更は ありません。	維持	不法投棄防 止対策に は多大な 労力とコ ストがか かり、更 には、市 内の広さ から全て を即時に 対処する ことは難 しい。そ れを補う ためには 、市民と の協働に よる対策 を講じる ことが不 可欠であ り、今後 も市民の 協力を得 ながら、 不法投 棄の回収 を行っ ていくこ とが必要 がある。	引き続き、 町内会、 市民団体 等と連携 して、不 法投棄の 防止に努 めると ともに、 不法投 棄の回収 を行っ ていく。			
										H27	上記のと おり	上記のと おり 【事業内 容・実績】 ・家電4 品目不 法投棄回 収量：40 個 ・パソコン 回収量：2 個 ・不法投 棄防止・ ポイ捨て 防止看板 の設置： 市内設 置数4カ 所 ・市民へ の街頭啓 発活動（ 1回） ・夜間・ 早朝パ トロール （2回）	上記のと おり									地方債														H27	上記のと おり
										H28	上記のと おり	上記のと おり 【事業内 容・実績】 ・家電4 品目不 法投棄回 収量：40 個 ・パソコン 回収量：2 個 ・不法投 棄防止・ ポイ捨て 防止看板 の設置： 市内設 置数4カ 所 ・市民へ の街頭啓 発活動（ 1回） ・夜間・ 早朝パ トロール （2回）	上記のと おり									一般財源		244	213	315	244	244	244							H28	上記のと おり
										合計														244	213	315	244	244	244								